

鳥取県第一の観光地“鳥取砂丘”の一角に、松の緑に囲まれた美しい多鯨ケ池があることは、県外から訪れる観光客のみなさんにはあまり知られていない。

鳥取市覚寺から山沿いに旧道を上り、峠を抜けると急に視界が開け、眼下に碧水を湛える多鯨ケ池、そして、その向こうに広大な鳥取砂丘と紺碧の日本海を見渡すことができる。

この多鯨ケ池は、「蛇の化身である美しい『お種』が蛇に身を変え、柿の実をとっているところを村人に見られたために身を池に投じてしまった」という伝説でよく知られている。この池は中国地方の海岸部にある湖沼の中にあって、水深が17mと異常に深く、しかも、水面高度が16mで、池全体が現海



多鯨ケ池

砂丘のオアシス

多鯨ケ池

おうちだに画報

水面より上にある不思議な池である。この多鯨ケ池は江戸時代中頃までは現在よりもはるかに大きく、水深は浅かったと思われるが、江戸時代末期頃より北域に広がる砂

丘から激しい飛砂が押し寄せ、見る間に池は大きく埋積されてしまった。この飛砂は戦後の植林が始まるまで続き、池内に浮かんでいた「大島」が陸続きになるほどの激しさであった。ニセアカシア、クロマツの植林で飛砂はようやく防げたが、かつての雄大な多鯨ケ池は小さくなり、その縮小した分だけ水深が深くなったのではないかと思われる。砂丘の南端に水を湛える多鯨ケ池はまさに“砂丘のオアシス”の感があるが、一度訪れて絶景を楽しみながら「池の生い立ち」などを考えてみるのも楽しいものです。

(やまびこ館 館長 星見清晴)

■問い合わせ先 やまびこ館 上町88 (0857) 23-2140



■問い合わせ先 さじアストロパーク 佐治町高山1071-1 TEL (0858) 89-1011

香西洋樹台長講演会

伊能忠敬～地球の大きさを測った人たち～



とき 9月17日(日) 午後2時～3時
講師 香西洋樹さん(佐治天文台長)
参加費 一般300円、高校生以下 および70歳以上無料
内容 伊能忠敬といえば、江戸時代に正確な日本地図を作ったことで有名ですが、実は地球の大きさが知りたという別の目標も持っていました。

今回の講演では、伊能忠敬をはじめ、地球の大きさを初めて測定したと言われる古代ギリシャの学者エラトステネスや現代の人工衛星を使ったGPSなど、地球の大きさを測ることへのチャレンジについてご紹介します。※講演会終了後、交流会も行います(参加費500円)。

お知らせ

9月9日(土)より、オリジナル・ブライナタリウム番組「地球の大きさを測ろう～伊能忠敬の見た星」が始まります。



伊能忠敬 提供：伊能忠敬記念館

香西洋樹の「空の向こうの物語」

Vol.9 秋分

9月23日は秋分の日。秋の昼夜平分の日のことで、昼と夜の長さが等しくなる日として知られています。

ところで、天で太陽が通る道筋のことを黄道と呼び、この黄道に沿って12個の星座が作られています。黄道12星座、または黄道12宮と呼ばれていますが、動物が主役なので獣帯とも呼ばれています。昔、星座が考えられたころ、秋分の太陽があつたのがてんびん座。昼夜が天秤に架けても等しいことから付けられた名前とも、正義の女神ディケが人の正邪を計るための天秤ばかりとして使ったものだとも言われてきました。このてんびん座あつた秋分点も現在では、地球の首振り運動(歳差)のため西隣のおとめ座に移動してしまつたのです。しかし、それでも秋分点のある星座の事を天秤宮と呼ぶ慣わしになつていて12星座と12宮とが一致なくなりました。星座占いで言う〇〇座の生まれというのは、この12宮に由来し、毎月21日が区切りになっています。これは春分の日が3月21日であることに由来するものです。面白いですね。

StarWorld 見上げてごらん